

令和6年度第2回 湘南大庭の未来を考える会議 議事録

日 時	2024年(令和6年)8月19日(月)午後2時30分から4時30分まで
場 所	湘南大庭市民センター 第1談話室
出席者	佐野会長他16名(詳細は出席者一覧のとおり)

1 開会

會澤課長補佐による司会で開会し、佐野会長が議長として会議を進行した。

會澤課長補佐	皆さんこんにちは。それでは定刻となりましたので、ただいまより令和6年度第2回湘南大庭の未来を考える会議を開催していきたいと思います。よろしくお願いいたします。 本日は湘南大庭市民センター長の塚本センター長が初めての顔合わせということになりますので、センター長の方から一言ご挨拶をお願いします。
大塚委員	皆さんこんにちは、湘南大庭市民センターにこの4月から異動になっております大塚と申します。前任センター長の後を受けまして、未来を考える会議という未来に向かう素敵な名前が付いた会議に参加できること、内容についても指針がもう出来上がるということで非常に楽しみにしております。そして、湘南大庭地区の活性化を皆さんと一緒にやっていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。
會澤課長補佐	ありがとうございます。 それではまず資料を確認させていただきます。お手元の資料になりますが、過不足等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。 続きまして藤沢市情報公開条例第3条の規定によりまして、会議の方は原則公開としておりますが、会長いかがでしょうか。
佐野会長	はい。よろしくお願いいたします。
會澤課長補佐	それでは原則公開になっておりますので公開にしたいと思います。
佐野会長	本日傍聴者はいらっしゃいますか。
會澤課長補佐	はい本日は傍聴者はいらっしゃいません。 それではここからの進行につきましては佐野会長にお願いしたいと思います。 よろしくお願いいたします。

佐野会長	<p>それではこれから議事に入りたいと思います。今日も暑い中お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>それでは次第の 2、地域意見の募集結果について事務局より説明をお願いいたします。</p>
------	---

2 地域意見の募集結果について	
	<p>石丸上級主査より、資料1-1、1-2、1-3 を用いて地域意見募集の結果について報告した。</p>
石丸上級主査	<p>はい、ではご説明をさせていただきます。使用する資料につきましては資料 1-1、1-2、1-3 になります。</p> <p>まず資料 1-1 につきましては地域意見の募集結果の概要を事務局で取りまとめたものでございます。</p> <p>続いて 1-2 については、地域内外から意見を募集した結果をこちらに転記しておるものでございます。</p> <p>それから 1-3 については、湘南ライフタウン内の小学校等に通う児童からの意見を集約した資料になります。</p> <p>資料 1-1 をご覧ください。</p> <p>こちらの表にございます通り意見募集については本年の 6 月 28 日から 7 月 26 日までの約 1 ヶ月をかけて募集してまいりました。</p> <p>意見募集の方法としては地域回覧の他、中学校 2 校高校 1 校の全校生徒に地域回覧と同様の資料を配布しております。</p> <p>それから湘南大庭市民センターと市民図書館、それ以外の近隣の市民センターに資料を配架しておりました。</p> <p>さらにこちらの方で手続きをしまして、カラフルふじさわというフェイスブックに記事を投稿しました。</p> <p>それから藤沢市の公式 LINE にも投稿させていただきました。</p> <p>併せて記者クラブへ情報提供をしまして、そちらはタウンニュースで取り上げていただいたという結果がございます。</p> <p>また最後に小学校 4 校チラシを配布と書いてありますが、小学校に関しましては、独自に小学生用のチラシを作成・配布しまして、意見があれば書いて提出してくださいというような募集の仕方をしてまいりました。</p> <p>同時に一部フリースクールにもお配りしました。</p> <p>小学校に関しましては、小学校 3 年生から 6 年生までの生徒に配布をいたしました。</p>

それでは、ここから、結果についてご報告します。まず小学生以外の一般の方からの意見提出者の数に関してですけれども、結果として62名からご意見をいただきました。

続いて、意見を提出した小学校等の生徒の数ですが、140人から意見をいただきました。

また、この資料の右側をご覧くださいますと、グラフがありまして、回答者の属性として、湘南ライフタウンに住んでいる方々のご意見が一番多かったという結果になっています。その一方で、湘南ライフタウンの未来に関心がある人、住んでいる、勤めている、通っている方以外の方からも多くの興味・関心を持っていただいているということがみてとれます。

またその下のグラフですが、こちらは地域意見の募集と併せて、来年度以降のアクションとして、自分たちの暮らしを自分たちで実現していくようなワークショップ、それからイベントなどがあつたら参加をしてみたいですか、という意向を尋ねたところ、44名、約7割の方から参加したいという前向きなご回答をいただいているという結果をご報告させていただきます。

2 ページをご覧ください。

多様な意見がございましたけれども、どのような意見が多かったかを報告をさせていただきますと、まず小学生以外の一般の方から多く寄せられた意見としまして、一つ目、樹木に関することが非常に多くみられました。

これは安全・衛生・環境・景観等の面から維持管理の徹底を希望するという内容が多く見られたということで、維持管理が行き届いていないというご指摘の一方で、そういったことがきちんとなされていくと湘南ライフタウンの財産として活かせるんじゃないかというご意見がありました。

また2番目、交通に関することですが、こちらはLRTなどを含む鉄道を延伸してほしいという意見ですとか、いずみ野線が延伸されれば湘南ライフタウンにも良い影響があるのではないかというようなお話もありました。

また、鉄道以外のものとして、今走行しているバスがございませけれども、それ以外にもコミュニティバスを導入してはどうかとか、今のバス便をもっと増便してはどうか、というようなバス便の充実を望むという声が多くみられました。

3つ目、商業施設に関することですが、空き店舗のリノベーショ

ンをして活性化したらどうかとか、近くにコンビニが欲しいというようなご意見が多くみられました。

その他、団地の空住戸の利活用、大規模店舗の継続営業、これからも存続してほしいというようなご意見がありました。その他、世代間交流を促すイベントを多く実施してほしいというようなご意見がありました。

続いて小学校等の児童・生徒からの意見になります。

一つ目、環境衛生に関することということで一番多くみられたものとしては、ゴミのポイ捨ての防止についてで、ゴミのポイ捨てを防止するような仕掛けをしてほしいとか、またそのためにはゴミ箱を設置してはどうか、というようなご意見が多くありました。

また、こどもらしくですね、公園に関する事も多くありまして、公園の中の遊具を充実してほしい、自分たちがもっと楽しく遊べるような遊具が欲しい、といった意見がみられました。

また、公園以外でもですね、屋内で遊べる場所の設置を求める意見というのが比較的多くありました。今日のような炎天下、真夏日の中で、なかなか外で遊びづらいというような実情を踏まえてですとか、また雨天時にも友達と遊べるような施設が欲しいというような意見がございました。

2つ目、商業に関することですが、少し意外だったところとしては、小規模店舗とかコンビニエンスストア、こういったものの充実を望む意見の他、宿泊施設が欲しいというような意見もみられました。

これらの他、自然環境の保全、水田の保全や、情報発信ツールの充実、これはSNSというよりは、魅力を看板などでお知らせしてはどうか、というような提案が児童・生徒の中からありました。

1枚めくっていただきまして3ページをご覧ください。

指針への反映を検討すべき意見ということで、こちらは事務局から委員に対して、指針に反映してはどうかという提案になりますので、この会議の中でご議論をいただければと考えているものでございます。

まず1つ目ですが、湘南ライフタウンで事業活動をしている人や企業が地元で投資する機会を創出した方が良い、という意見についてで、先ほどの資料1-2の資料のNo.18で意見が挙げられているものになります。

事業活動している人も地元で投資してほしいという意見がこちらでも挙げられておりました。皆さんご存知の通り、この地区の中では、住宅地の他ですね、生活を支える店舗や事務所も少なからず存在してい

るという事実がございます。こういった現在事業をしている方々が、この地区内で経済合理性を高めながら事業活動を継続するということが、持続可能なまちづくりにも必要な要素と考えられる、ということで、個人事業主ですとか、ライフタウンにある企業や金融機関との連携を強化しまして、その投資を促すような仕組み作りを検討するというところについて、指針に盛り込んだらどうかという提案になります。

指針への反映の案についてはこの後の議題でご説明します。

続いて(2)をご覧ください。持続可能なまちづくりを進めるためには、湘南ライフタウン内で働く場所を増やしていくことも考えた方が良く、というご意見がありまして、これは先ほど1-2の資料のNo.27、ページで申し上げますと14ページから15ページにかけてになります。

こちらに持続可能なまちづくりのためには、エリア内で働く場所が必要なのではという問いかけ、それから中段のところ、自宅で働く人にとっては、交通の便の悪さはあまりデメリットにならないので、自宅で働く人、近隣で働く人、エリア内で働く人にとって働きやすい環境の確保と働ける場所の確保が必要なのでは、というご意見です。

こちらに関しても事務局の方で、こういう考え方をしてはどうかということをご提案します。(2)の下のところ、地域の活性を促すためには、寝に帰るベッドタウン化を進めるよりも、職住、職業と住まいを近接させて、日中も地域内で働く人が存在し、またそれによって関係人口を作り出していくということも考えた方が良くということで、これも指針に反映するというところを検討してはどうかと考えております。

最後3つ目、(3)になります。

地域の活性化には、まちづくりの専門性や創造性を持ち合わせた人材の発掘と育成が必要、というご意見です。

こちらは資料1-2、No.51、ページにしますと29ページから始まるご意見になります。

30ページの下から6行目あたりですね、地域の活性化については多くの専門性や個性的なアイデアを持つ人材が必要になるでしょう。そうした人材の発掘が必要だと思います、というようなご意見をいただきました。

これを踏まえまして事務局の方では、まちづくりに関する前向きなモチベーションというのは必要不可欠な要素ですけれども、そういう気持ちだけではなかなか変化を起こしづらいところもありまして、長きにわたって地域に刺激を与え続け、さらに牽引をし続けるキーパーソンの存在が求められるということで、こういったことも指針に盛り込

	<p>むということを検討してはどうかと考えております。</p> <p>今申し上げた 3 つは、指針へ反映してはどうかという提案になります。</p> <p>それからその次の 5 になりますけれども、指針策定後、来年度以降の取り組みにおいて参考にできそうな意見ということで、いくつかご紹介をさせていただきます。9 つありますけれども 1 つ目が、(1)ワークショップ等を開催するならば、実際に、ともに活動する仲間を作れるものが良い、ということで、これは意見募集の用紙にワークショップをやる時に参加意向がありますかという問い掛けに対しての回答と考えております。机上でお話をするだけではなくて、やはりそれを行動に移せるようなワークショップにしてほしいというご意見がありました。</p> <p>それから(2)、これからの地域づくりを担っていく 10 代から 30 代の若い世代がビジョンを掲げて動き始めることを期待する。</p> <p>(3)、持続的なまちづくりを進めるために、神奈川県や藤沢市の補助金等に依存しないことを明記しておくべき。</p> <p>(4)、県営住宅の再整備に当たっては、神奈川県藤沢市、民間が連携して魅力ある集合住宅にすること。</p> <p>(5)、地域の交流促進の一つとして畑を共有するようなことができれば良い。</p> <p>(6)、新しい自治会町内会の運営方法を検討する。</p> <p>ということで、ここまでが児童以外の一般の方のご意見として来年度以降参考にできそうかなと思われたものをピックアップしております。続いて(7)から(9)ですけれども、こちらは児童の意見を踏まえた内容です。まず(7)、ごみの除去など環境美化活動の強化</p> <p>(8)、地域内の公園や屋内の遊び場の充実</p> <p>(9)、生活利便施設の立地促進</p> <p>以上がこの議題の説明になります。先ほどご提案しました指針への反映を検討すべき意見以外にも、委員のみなさまの視点で指針に反映すべきと考えられる意見についてもご議論いただければと思います。よろしくお願いいたします。</p>
佐野会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは説明いただいた地域からの意見募集の結果についての内容について、意見等ありましたらよろしくお願いいたします。</p>
森谷委員	<p>商業や働く場所の話として比較的大きな商業施設だとイオンや東急になるかと思いますが、それ以外ですと住宅地の中にどれだけその店舗等を作れるかっていうところになってくると思うんですね。実際に横浜市</p>

	<p>の方で今年の5月から適用されているものが用途地域の変更の緩和がありました。第一種低層住居から第2種低層住居に、一部地域ですけど、これが変更になったっていうところで住宅街の中に150平米未満の中規模のお店の立地が可能になっています。</p> <p>やはり、ハード面っていうと当然税金の投入とかそういったことになってくると思うんですけど、こういった他の地域に先駆けてソフト面での考え方の変化も必要なのかなと思いました。</p>
佐野会長	<p>わかりました。他ごぎいますか。</p> <p>今ちょうど用途地域の指定の変更を含めた話にも入ってきているんですが、他ごぎいますでしょうか。ありますか。</p>
實方副会長	<p>今お話のあった横浜の用途地域の柔軟な見直しに関して業務で関わっていた経緯がありまして、議論の過程には住環境の保全と、その住環境を望んで暮らし続けている方もいらっしゃるの、住環境の保全と必要な利便性とは何かの議論をずいぶん重ねた経緯があります。やはり便利な施設ができれば、外から車も入ってくるという一面もありますので、そういったことについて、よくよくこれから住民の皆さん、地域で議論した上でルールの見直しも必要かと思っております。</p> <p>それに関しては、おそらく住宅地の中の土地利用だけではなくて、意見を拝見していても公園や広場があまり利用されてなくて鬱蒼としていて、というお話もありました。一方でこういうイベントがしたいとか、こういう遊び場が欲しいとか、そういうニーズもある中で、せっかくある環境がどうして使われてないのか。その中で活動だったり、利便性のニーズをどうやって受け入れていくかについて、次の段階に踏み込んで、一緒に実現することを考えていく段階に入っていくことが求められているんだろうな、とご意見を拝見しておりました。</p> <p>そういったことも踏まえて今、湘南大庭にあるうまく利活用されてない地域資源と投資をどう結びつけていくかということと一緒に考えていかないと、なかなかこの意見に答えていくのは難しいかなと思っておりました。検討されている対応のところに投資の呼び込みということが書いてありましたが、その中に、せっかく基盤整備してきた地域資源をうまく使って、利活用と合わせて投資をいかに呼び込んでいくかというエッセンスを入れていくと、参入していく事業者の方々も、「この地域はもしかしたらそういう未利用地の利活用についてこれから新しいことを考えているのかも知れない」という期待感も沸くと思います。そういった地域資源の活用というエッセンスも入れられると良いと思いました。</p>

中村委員	<p>コンビニができないっていうのはけやき通りのことなんですよ。地域の方々からは、こういった声があるんですよ。コンビニが欲しいという。</p> <p>ライフタウンにはコンビニが少ないっていうので有名ですから。一部にコンビニがあることはありますが、全体としてはかなりコンビニが少ないです。</p> <p>それはやはりけやき通りの規制がかかっているから、ということを知っていますので、これも4月に市長が来たときに質問が出たんですけども、経済部長からはっきりとした答弁はなかったと思います。</p> <p>大規模な店舗についてもテナントの空きが目立ってきたり、商店街の空き店舗も地域の人目につくようになってきています。滝の沢商店街は、地域の介護事業者の若者が空き店舗を活用して介護のサポート事業をやるような動きもあることはあるんですよ。また、その介護事業者が空き店舗の活用投資をしようかという話もあったんですが、コロナの影響で立ち消えになってしまいました。ただ、こういった前向きな動きがあることはよいことだと思っています。</p> <p>それから、住まいについては、活性化協議会でも相談者が多いんですよ。相談するところが公の場を含めてもないんですよ。横浜の住宅供給公社などは住み替えの支援を手厚く実施しているし、若者世代を優先的に住まわせるための仕組みがある団地もある。こういうことも考えていかないといけないと思います。</p>
佐野会長	<p>様々な意見が出てきて、これはアンケートのまとめですので、ここでこれを深めていくっていうのは後の問題だと思うんですが他にございますでしょうか。</p> <p>別の視点から一般の意見と、小学校の児童からの意見で、視点が違うのでこどもは本当に短いシンプルな視点であることがわかるんですが、他ございますか。</p>
水上委員	<p>膨大な意見の取りまとめお疲れ様でございました。これだけの数の意見を指針の中にどれだけ盛り込むかというのは至難の技だと思います。一方、事前に事務局から送っていただいたメールに添付されていたこの資料を見て、こんなに多くの方が関心を寄せてくださっているんだと素直に驚いたところです。</p> <p>こどもはおそらく先生の誘導もあったりしていろいろ書いてくれたと思いますが、地元の方が、60数件書いてくださっているっていうのは非常に大事なことだと思います。この指針ができた後にこういった方をいかに巻き込むかというところに皆さんの英知をつぎ込んで、ワー</p>

	<p>クショップなどを実施して、作って終わりじゃないようにするためにはどうしたらいいか、を考えていくことが、ますます大事ななところだと思います。</p>
佐野会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今水上さんからありました、ワークショップに参加してみたい方がかなり多くいますので、これを無視することはできませんが、指針を作るためのワークショップじゃなくて、作った後で、それをどういうふうに応用するかというようにしていけないといけませんね。会議の中で非常に有意義で有効な意見が出ていますので、これに基づいて意見が出てきているということは非常に良いことなので、これ全部吸い上げるというよりも、市場に合わせながらやっていくといいと思います。</p> <p>例えば商業施設の問題についても、みんな欲しいし私も欲しいし、できればうちの隣で欲しいぐらいなんですけど、これはビジネスなので利用者がいないと出店するメリットがない。</p> <p>大体1日見ていると客数が100人以下のところは厳しいですよ。コンビニでも街道筋とか、工事現場があったり何か人が集まるところがあるところはいいんですが、これがないと、大体1年もたないで潰れていきますよね。</p> <p>だから我々住民が欲しいというものと、実際にそれにおいてビジネスとして成り立つかというのはまた全く違った視点なので、住居の問題もたくさん住んでほしいけども今住んでいる方が快適な住空間を持ちたいという思いもありますし、住む方は便利でないといけないというのがあるので、そこは割合というか双方に良いポイントを探していくというのが大事かなと思いますね。</p> <p>現時点の指針は非常に良い方向に向かっているんで、その中で妥当なものを、この中で求めて市民に提供して、参加を希望している人が多いワークショップ等で充実させるという方向にいくのがいいのかなと思っています。</p>
實方副会長	<p>私もこの意見の多さと一つ一つの意見の熱量とボリュームに圧倒されました。これをどう受け止めるかというところで一つヒントになるのは、これだけ思いとアイデアを持っている人がいるということで、ワークショップにも参加してもらい、もっとこういうことやっていいんじゃないかという提案が多いテーマをまず取っかかりにして、その方たちと一緒にやっていく。特に中村さんが紹介してくださった既にある動きも含めて、そういう方たちにもお伝えして、実はこういうこともあるんだよと伝えたいので、何ができるか一緒に考えていこう、というようなステッ</p>

	<p>プに入っていくのもあり得るかなと思っております。今回のこの 62 件というのは本当に次のステップの大きなヒントをいただいていると思っ て拝見しました。</p>
佐野会長	<p>はいありがとうございます。 先ほど事務局ありましたこの中の意見の中で具体的にこの指針の中 に反映するっていうのは、次の次第の 3 で内容についても具体的に 説明してもらおうことがあると思いますので、改めて今のことについて検 討願いたいと思います。</p>

3 指針(案)本編について	
石丸上級主査より、指針(案)の本編について資料 2 を用いて説明した。	
石丸上級 主査	<p>それでは資料 2 をご覧ください。 変更箇所を中心にご説明を差し上げます。変更箇所については従前 と同じく赤字で表記をしております。 まず表紙をご覧くださいますと、前回サブタイトルを付加してはどうか というご提案をさせていただいたところですが、活性化協議会 の皆様でご議論をいただきまして、赤字で記載のあるサブタイトルを ご提案をいただきました。読み上げますと、未来へつなぐ住み続けたい まちを目指して、というサブタイトルをご提案をいただきました。 1 枚めくっていただきまして、目次を一部変更してありますが、そちら を飛ばしまして 1 ページ、はじめに、のところをご覧ください。 2 ヶ所変更がございます。中央のあたりと下の方ですね。最終の段に なりますけれどもこれまで地域活性化協議会の協力というような表現 をしておりましたが、協働という表現が正しいのではないかというご指 摘を協議会からいただきまして、まさにその通りであるということで、2 ヶ所の協力という内容ですね、協働しながらですとか、地域活性化協 議会の皆様との協働が大きな支えであった、というような表現に変更 をしております。 続いて 2 ページをご覧ください。 2 ページの第 1、策定の背景と目的の直下にごございます湘南ライフタ ウン(湘南大庭地区)という表現を変更いたしまして、(湘南大庭地区) という文言を削除するよう提案をさせていただきます。 これは前回の会議の中でですね、湘南ライフタウンイコール湘南大庭 地区ではないのではないかというようなお話もありましたし、指針のタ イトルと比べますとわかりづらいというようなご意見もありまして、一旦</p>

事務局の提案としては、湘南ライフタウンという呼称に統一してはどうかと考えております。

ただ湘南ライフタウンという名称の由来を含めますといろいろ経過がございますので、このページの下をご覧ください。

注意書きをさせていただきます。

一般に 1971 年に着手された西部開発により整備された一団の住宅地の呼称として用いられるが、この指針では、藤沢市の 13 地区の一つである湘南大庭地区を中心としたエリアをいう、と定義してはどうかと考えております。

この意図としましては、明確にこの湘南ライフタウン活性化指針の対象とする範囲がどこからどこまでという位置づけをする必要もはやないと考えておまして、湘南大庭地区内だけではなく、その周辺エリアも合わせてですね、ライフタウンと捉えまして、皆さんで活性化していこうという趣旨で進めさせていただければということでこのような提案をさせていただきます。

続いて 3 ページをご覧ください。

2 の指針の位置づけという部分を変更しまして、指針の活かし方というタイトルに変更してはどうかという提案です。

これは下の方に見え消しで消してある部分ございますけれども、前回の会議の中で藤沢市長に提言した上で、ガイドラインとして位置づけるという表現が少々わかりづらいというご意見もありまして、ご議論いただいた結果ですね、その次のページにも繋がるんですけども、本指針やまちの活性化をテーマに、湘南大庭地区の未来を考える会議が作成するまちづくりのガイドライン(羅針盤)として藤沢市長に提言するものとします、ということで、どう使うか、という視点を踏まえて書いております。

続いて、51 ページをお開きください。

51 ページは第 4 章の取り組み方針の中の共生に関する内容になりますけれども、(3)の持続可能なまちづくりのために、今まで 4 つ項目がございましたが、先ほど議題の 2 の新たにご意見を加えてはどうかというご提案をさせていただきましたけれども、それを⑤の地域への投資の促進と経済循環というものを加えてはどうかということで考えております。

内容としては、地元の事業者による地域への投資を促し、経済を循環させることで雇用が生まれ、職住が近接した住みやすいまちとなるよう、地元の事業者や金融機関との連携を強化するとともに、地域に根

	<p>ざしたスモールビジネスのスタートアップを支援する仕組みを考えますということで、先ほどの資料で地元へも投資の機会を増やすこと、それからライフタウン内で働く場所を増やしてはどうかというお話がありましたので、その2つをこちらに新たに加えているという案になります。</p> <p>続きまして59ページをご覧ください。</p> <p>59ページは第5章活性化指針の具体化に向けての中で、活性化の主体と役割がございます。</p> <p>こちらに住民や事業者、それから行政それぞれがどう取り組むのかというような役割が書いてありますけれども、そちらの行政のパートのところ、赤字で加えさせていただきました。</p> <p>これは先ほどの新たに加えることを検討した方が良いのではないかという意見の中の、まちづくりを進めるためのキーパーソンの発掘・育成というところの内容になります。該当箇所を読み上げさせていただきます。行政は、公共施設や公共インフラ等のハード面や住民への生活支援等のソフト面における取り組みはもちろん、多様な主体が取り組むにあたり、円滑な連携ができる支援調整の他、専門性や創造性を備えたまちづくりのキーパーソンを発掘し、育成するための支援を行うことが求められています、というような表現を加えております。</p> <p>以上今申し上げた内容が、資料本編に変更を加えた箇所ということになります。</p> <p>よろしく申し上げます。</p>
佐野会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ご意見はありますでしょうか。</p> <p>副題を変えていますが、これについて、協議会はよろしいですか。</p>
一同	はい。
佐野会長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>基本的に大きな流れは変更してありませんので、よろしいですか。</p> <p>ご意見がないようですのでこれを形として進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>

4 指針(案)資料編について	
石丸上級主査より、指針(案)の資料編について資料3-1、3-2、3-3を用いて説明した。	
石丸上級	前回資料編の構成について議題に挙げさせていただきました、ご議

<p>主査</p>	<p>論いただいて、さらにその後、活性化協議会でもいろいろご意見があったということで承っています。まず、資料 3-1 が活性化指針資料編の目次になります。</p> <p>ここの中に赤字で加えている部分が今回追加を検討する内容になります。</p> <p>資料 3-2 をご覧ください。</p> <p>こちらが湘南大庭の未来を考える会議の発足時の記事ということでタウンニュースに掲載された内容になります。</p> <p>こちらは一つの記録として加えてはどうかというお話がありました。こちらについてはですねこの会議の中で加えるということになった場合には、発行元に、承諾の申請をしまして、許可をいただいて許可が下りれば掲載していくという流れになります。</p> <p>続いて資料の 3-3 ですね。</p> <p>こちらは、協議会からいただいた資料をベースに作成しています。会議の様子という形でこれまで活性化協議会で行われたグループワークですとかそういったものの写真を掲載しながら、どのような形でどのような方々がお話をしていたかの様子がわかる部分なので、タイトルを仮に会議の様子とさせていただきます。</p> <p>それから最後に 4 の横長の表がございませけれども将来負担の意見集約シートということでご意見があったかというところをこちらに集約している資料として掲載をしております。この辺りはこの提案で良いかどうかということも含めてですね、ご議論いただければと思いますよろしくお願いします。</p>
<p>會澤課長 補佐</p>	<p>今の 3-1 の資料に目次がございませますが、意見公募の結果についてこの記載をすることは書いていないんですけども、意見すべてを掲載することは難しいですが、概要を綴ることも考えております。この概要につきましては、事務局におまかせいただければ要約したものを作成いたします。イメージとしては、資料 1-1 に近いものを想定しています。</p>
<p>佐野会長</p>	<p>わかりました。</p> <p>アンケート寄せられた意見全部そのまま掲載することは難しいので、事務局の方でポイントを絞って、集約したいということですが、これにつきましては、よろしいでしょうか。事務局一任という形で。</p> <p>はい。それは事務局の方でまとめをお願いします。</p> <p>その他ご意見は、ございませでしょうか。</p>
<p>道上委員</p>	<p>活性化協議会から一つご相談をお願いしたいことがあります。資料</p>

	<p>編の活性化協議会の委員の名簿についてなんですが、今は 8 ページ 9 ページのところに現在の委員の氏名が掲載されています。ただ、現在は委員として活動していない方々とも一生懸命話し合ってきた過程があります。</p> <p>ですので、もう辞めた方の許可が得られれば、その時の名簿も掲載してほしいです。また、当時の職員も名簿に加えていただければと思います。活性化協議会の話し合いはセンターの職員の皆様がいなかったら決してできるものではなかったと思いますので力を合わせてくださった皆様に何か得るものであるといいなと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
佐野会長	事務局の考えはいかがですか。
會澤課長 補佐	<p>はい。ご意見いただきました名簿につきましては、その方たちの同意が得られれば掲載することは可能だと思っております。事務局側のメンバーについてもこれまでの参加した職員について掲載できるように調整させていただければと思います。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>

4 指針概要版について

石丸上級主査より、指針概要版(案)について資料 4 を用いて説明した。

石丸上級 主査	<p>指針は本編・資料編以外にこの A3 判 1 枚の概要版を併せて作成をしまして配布できればと考えています。</p> <p>見方としては今、見開きを折って開いていただいたと思うんですが、湘南ライフタウン活性化指針概要版と書いてあるのが表面になりまして、こちらをひっくり返して開いていただくと、指針の概要が書いてあるというような構成になっております。</p> <p>まず表紙から、我々の方でも修正を依頼していこうと思っている事項がございます。</p> <p>まずそちらを説明させていただきながら皆様からもこういった点を加えてほしいとか、修正をしたらどうかというお話いただければと思います。</p> <p>表紙ですけれども、我々のオーダーとしては湘南ライフタウンのシンボリックなものを集約した形で表現をしてほしいということと、湘南ライフタウンの住民の皆さんが、やりたいと思っていることをイラストとして表現してほしい。</p> <p>それから老若男女がこれを見てちょっと楽しそうだなと思えるような</p>
------------	--

イラストにしてもらいました。

まずは、大庭城址公園の中でいろんな人が楽しんでいるような絵を描いてもらい。引地川があったりとか、その中でお祭りをやっていたり何かイベントをやったりとか、そういったことを表現していただいています。

また中には子どももいるし、お年寄りの方もいるし、ということで多様な人がいるんだよということを表してもらっているという内容になります。

そしてこの中央に見える道路がケヤキ通りを表現しているということで、そこにバスが走っていると。さらに、右側に団地があり、その奥に学校があり、そしてその反対側にセンターですとか大規模な店舗があるというようなことを表現していただいているという内容になっています。

修正していきたい個所としては、城址公園が前面に出過ぎているかなと思っています。もう少し親水公園もあつたりとか、そういった要素もですね、表現にしてもらいたいかなと思っていること、それからケヤキ通りなんですけれども、これだと直線に見えるところもあって、もう少し湾曲させたいかなと考えております。

またけやき通りであるということが少しこのイラストからわかりにくいのでもう少しケヤキであることがわかるように、樹形をリアルに表現してもらおうこととかですね、そういった修正を加えたいと思います。それから最後ですね、右側に団地がございます。今回、団地再生というのを一つのテーマとしてやらせていただいておりますけれども、今のイラストは団地自体が少し人気がないような形になっていますので、この団地が少し変わってきているんだということがわかるように、住民がいて、何かをやっているというようなことが表現できるのかなと思っています。

一旦事務局の方で、今申し上げたような点の修正を加えていきたいと考えております。

続いて裏面です。

こちらは、今左上の方に基本理念を大きく書いてあります。住みたい住み続けたいまち湘南大庭と書いてあり、その右側に、三つの主体と役割、それら三つの主体がですねそれぞれどんな役割を負うのかということが書いてあります。

そして今回の指針の最も重要なところであります目指すべき将来像とその取り組み方針というのがその下に書いてありまして、3色で表

	<p>現しておりますが、共生生彩発信と書いてあります左側の方に、共生で行っていく取り組み方針、右側のページの真ん中に生彩で行っていく取り組み方針、一番右側のところに発信で行っていく取り組み方針というような書き方をしております。</p> <p>これに関して我々の方で当初のオーダーとしては、まず手にとって数分で内容が読み取れるものでないと手に取ってくれないというようなことがありますので、なるべく文字を少なく視覚的にわかりやすいようにまとめてほしいというお願いをしたところです。</p> <p>ただ、修正を加えていきたい点が大きく三つありまして、一つは、目指すべき将来像が4つあるように見えてしまうので、目指すべき将来像と書いてある四角の部分とそれ以外の取り組み将来像3つの区別がつきづらいので、取り組み方針が3つであることをもっと強調するために、配置や色を変更していきたいと考えております。</p> <p>それから、まだ文字数が多いかなと思っておりまして、もう少し取り組み内容で①②③④などと書いてありますけれども、この部分をもう少しシンプルに簡潔に表現し、文字数を減らしながら、文字を大きく表現をしていければと思っております。</p> <p>それから最後に、特徴的な取り組み方針においてはもう少しイラストを挿入するような形で視覚的にどんな取り組みをするんだろうというのが目に飛び込んでくるような、そのような変更を加えていきたいと思っております。</p> <p>資料の4の説明については以上になります。よろしく申し上げます。</p>
佐野会長	<p>ありがとうございました。修正案についても事務局から説明がありましたが委員の方々からご意見とか質問等がありましたらお願いいたします。</p> <p>見やすさが大事なので。中村さん何かありそうですね。</p>
中村委員	通勤バスをツインライナーにできないですか。
會澤課長 補佐	対応は可能かと思っておりますので、相談してまいりたいと思います。
中村委員	中心の描かれている広場は大庭城址公園の広場ということなんでしょうか。
會澤課長 補佐	そのとおりです。
道上委員	どうしても普通の公園にしか見えないと思うんですね。やはり大庭城址公園は周辺より高いところにあって、そこからまちを俯瞰するような視点がよいかもしれない。

	<p>それから団地もある、ケヤキ通りの曲線がある、ケヤキの木がある、そして私達の街のシンボルは大庭城なので、大庭城が大庭城であるという雰囲気を表紙に表現してほしいと私は思います。難しいかもしれませんが。</p>
水上委員	<p>この概要版を作ってどう使うかだと思うんです。</p> <p>大庭城とか親水公園とか皆さんの心の中にはシンボリックなものってあるんだと思いますが、それを市役所に配架しておいて多くの人に手に取ってもらいたいものなのか、それとも何か別の例えばワークショップだとか次の学びの機会にこの指針の圧縮したもの、文字が多少多くなったとしても、これだけの50何ページも読むのは大変でも、概要版を見ればそのエッセンスは書いてあるというものにして、次の具体的な行動に繋げるツールにするのかによっても違うかなと思っていて、これを市役所に配架して手に取ってもらうことを狙いとするんだったら、もっとPR的なものでもいいのかなと思うし、これを圧縮したものとするのであれば、僕は少し足りないと思うんですね。</p> <p>先ほど中村さんの方からありました若葉台という1万3千人ぐらいの人口のまちですけども、そこで作るときも8ページにして必要なものは全て入れて、次の取り組みに繋げるためのツールとして作ったという経緯もありました。その辺、事務局の考えもあると思うので、作ったものをどう使っていきたいのかという視点で、どれだけビジュアルの力を入れるのかだとか、それを考えたらいいんじゃないのかなと思いました。</p> <p>団地再生に携わった経験値としては、一生懸命皆さんで書き上げたこの指針をギュッと圧縮して、それをその後のマネジメントに使っていけるように、次の取り組みに繋がっていくようなものにする方がいいんじゃないかなと、自分の経験値も踏まえて意見として出させていただきます。</p>
佐野会長	<p>はいありがとうございました。</p> <p>何を訴えるか、何にするかで内容を変えたほうがよいということですね。</p>
會澤課長 補佐	<p>私の個人的な考えでは、指針ができた後の次のステップとしてワークショップですとか、どこかへの報告という使い方もあるかと思うんですけども、ただ、ワークショップをするときにですね、ここの内容が濃すぎてしまうと、これを説明しているだけで相当な時間を取られてしまうと思われま。みんなが今目指している未来のイメージを共有した上で、何となく具体的なワークショップをできる方がいいのかなと</p>

	<p>思ったところですが。なるべく簡略化しながら、キーワード的にまちのイメージを作った上で議論できたらという感じで、視覚的にお伝えをしながら、皆さんでどんなことができるか、という話をしていくことを想定していました。</p>
道上委員	<p>もちろんその他の使い方というのは、幅広く考えられるとは思いますが、ワークショップをしたときに配布して、そのときにまず簡単に、参加する方に概要を理解していただいて、議論を深めていくというのであれば、この内容で十分伝わると思いました。ただ、この活性化指針があることというのはほとんどの人は知らないんですよね。だから、例えば指針ができたから皆さん協力してくださいというような、広報のみではなくて回覧板で回してみるとか、参加してみたいという人の心に届くような効果的なツールとしての使い方をだったらいいかなと思うので、地域の人が活動するきっかけにしようという使い方もいいのかなと思いました。</p>
神木委員	<p>ご意見をいろいろ聞いていて、このイラストはイラストでいいと思うんですよ。</p> <p>だけど、少し現状のライフタウンと違うところがあるから、例えば、道路にもう少しカーブをつけるとか、中央はケヤキが植わっていることを意識することで、非常にイラストが良くなると思うんです。</p> <p>興味を持たれる方もいらっしゃると思うんですけども、ちょっと現実とこのイラストがかけ離れているように思うんですけど、どうなんですかね。</p>
石丸上級主査	<p>我々の方でも例えば現実に寄せた鳥観図のように描くのか、それとも現実と理想の狭間みたいなところで想像のライフタウンを描くのかというのは悩んだところがありまして、ただ、どちらの方が子どもたちを含め、まず手に取って考えやすいかということのを考慮して、あまり写実的であるのもよくないし、逆に現実と離れ過ぎてもよろしくないというところがあって、現実の大庭をベースに変化が感じられるようなものがベストと考えて、たたき台を描いてもらったという経緯です。今回いただいたご意見を踏まえて、いろいろ手を加えていくことは可能かと思うんですけども、イラストの作成者にできる限り具体的に指示をしていきたいというところもありますので、具体性をもったご意見をいただいたほうが、皆さんのイメージに近づけていきやすいと思います。これに関しては今日決めないといけないというわけではないので、若干のお時間がありますので、引き続きアドバイスをいただければと思っています。</p>

<p>會澤課長 補佐</p>	<p>すみません。少し補足させていただくんですけども、こちらの目的がそもそも地理的なものを正確に載せるのが目的なのか、ここでやりたいことを載せて共感を得ることが目的かという趣旨によるところがありまして、鳥瞰図的に地区全体を載せようとする、やりたい人の動きとか、表情とか、そういったものが載せにくくなるんですね。そういうのもあって、こちらで考えたときに、住民が何をしたいのかというところに重きを置いて、ハード面の要素は少しちりばめた形をとらせていただいているという経過がございます。</p> <p>なので、鳥瞰的に表現することも可能ですが、そうしてしまうと今言ったような、何をやりたいかという表現は難しくなるデメリットはございますので、協議会の中で議論いただいて、どちらの方向性にするのかを検討していただくこともできます。</p>
<p>實方副会 長</p>	<p>内側の内容について、強調していただきたいところが、指針の59ページにも書かれていますけれども、これからパートナーシップを進めていくんだよ、だから皆さんと一緒にやってくんだよというメッセージをしっかりとこの右上で表現していただきたいと思います。</p> <p>他人事にされかねないなと思ひまして、「地域の活動団体の人たちや事業者、行政がやってくれるので」ではなく、「あなたも当事者ですよ」ということがわかるぐらい、そして「みんなでパートナーシップでやっていくよ」ということがわかるぐらいアピールをしていただけたらなと思います。</p>
<p>茶屋道委 員</p>	<p>皆様からもいろいろご意見が出ている中で、私もこの資料を見たときにこの資料の使い方によってはちゃんと作り込みをする必要があるかなと思っていて、先ほど會澤課長補佐がおっしゃられたようにワークショップとかであればこのぐらい簡略化したものでも伝わるかなと思いつつ、道上さんがおっしゃられたように例えばこれを住民さんに知ってもらうことがまずスタートなんじゃないか、そういう用途で使うのであれば、何か足りてないような気がしているので事務量は増えるかもしれないんですけども、そういう広報的に知ってもらうことを優先するのであれば、もう少し書き込みとか内容の充足が必要かなと。</p> <p>ワークショップで使うのであれば先ほど實方副会長がおっしゃられたようにメッセージ、この指針をもって何を伝えたらいいかっていうところのメッセージ性を強調した方がいいのかなと思います。</p>
<p>佐野会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>どの方向で進んでいくかっていう使い方の問題ですよ。</p>

	両方のご意見を全てこの1枚で表現するのは厳しいですし、2パターンつくる必要性もないと思います。
道上委員	<p>活性化協議会の中で話をしているのは、指針を作って、それをどうやって活用につなげるかというところなんですね。それで中村さんも務められている郷土づくり推進会議の方から来年度以降、一緒にメンバーに加わってやっていこうかっていう話が出ているところです。</p> <p>指針を作る中心メンバーとして活性化協議会があったんですけども、私達の役割は一旦指針を作ったところでお役目を終わると思いますが、知っているメンバーが郷土づくり推進会議の中に入って、指針を使うときに、こういう内容なんだよ、皆さんのアンケートとかを活用して、こうやって会議の中で話し合っただけで作ったから、これを活用していこうよっていう話をしていかなければ、多分できて終わりみたいなことになる危険もあるんじゃないかなと思っています。こういうものを作っていただくのであれば、まちの人たちに広報をして、まず知ってもらっていくことがよいというふうに感じます。</p> <p>思いがある人、ワークショップに参加したいっていう人はちゃんとアンテナ張って60人の意見、子どもたちからも140人の意見はあるけれども、3万人いますから、とりあえず皆さんがこれを使ってこれから変えていきましょうよっていう言葉を伝えられるものがあるといいなって思います。</p>
佐野会長	<p>今の広くですね、住民市民に向けてっていう意見が出ましたけれども、これについてはいかがでしょうか。</p> <p>これはライフタウンの住民に向けたのか広く市民に向けて藤沢市に向けてというところでまた違ってくるので。まずは、指針の基本理念は明確にしなきゃいけないのと、それとやはり住民に話をするときは言葉じゃなくて、図柄っていうか、地図とかイラストみたいなもので説明しないといけないので、工夫が必要になってくる気がします。そういうものがないとイメージがわからないんですよ。</p> <p>今回これ1種類を作成しますよね。</p>
會澤課長 補佐	<p>そうですね。今回予定しておりますのは概要版としては1種類という形で考えておりますので、例えば回覧板に入れるというお話があったんですけども、もし回覧板の中で見ていただくとするのであれば、なるべくシンプルにしないと、回覧板は次の数人に回さなければいけないところもあったりするので、そういったことを目的に考えていくのであれば、なるべくシンプルな作り込みの方がぱっと目にしていただけるとと思います。逆に地域の方が今後地元の方にお話をして</p>

	<p>いくときに、こんな内容であった方がいいとかというのがもしあれば、その辺は協議会の中でご議論いただいたものをこちらで反映させていくということは、可能ではありますので、またそこでご意見いただければと思います。</p>
森谷委員	<p>さきほど、文字数を減らされるという話をされましたけども、それはそれで非常にいいことだと思うんですよ。それに対してやっぱり一見して興味が湧くような、ビジュアルプレゼンテーションみたいなことで地図を入れるとか、ぱっと見て興味を持たれてその後若干文字が入っていて読みやすい文字にしてっていうようなことが必要かなと思いました。</p>
道上委員	<p>これまで団地再生とかされてきた中で、こういうものをポータルサイトの一番上のところにいつでも図がクリックすれば大きくなるように、トップに載っているとかがそういうことも考えながらこれを広くなるべくライフタウンの人たちの目に触れる形で考えるのか、それとも、結局広く目に触れたいと思っても、見ない人はいっぱいいるのでワークショップに来てくれるような意欲ある人に向けたものにした方がいいのか、これまでのご経験の中で、その先の仲間が増えることに繋がるかっていうところも何かアドバイスってありませんか。</p>
佐野会長	<p>私の経験上、今回の概要版はすごくいいんですよ。何も書いてなくてイラストだけのシンプルなものなので。私はどっちかというたくさん書きたくなる方なので、例えば、ショッキングな、この街が潰れてしまうみたいなメッセージを書いて、そのために何をやるのか、そして最後にどんな形になるのかということシナリオ的に表現したりするんですが、成人を含めてまず手に取ってもらえません。</p> <p>地方都市においてもそうなんですよね。今回の概要版のイメージは本当にこれでいいのって思うかもしれないんですが、こういうイラストは記憶に残ったり、興味をひきやすかったりするんで、置いてあるとこれは何なんだってわかってもらえるという良い点もあるんです。逆にたくさん書き込むと、読めばわかるんですが、その辺にある普通のパンフレットと同じなので、手に取りませんね。それと、たくさん書き込むのではなくて、QRコードを使うこともよいかと思います。指針のパートに分けて複数のQRコードを貼り付けておいて、興味がある部分だけ閲覧できるようにしておくという方法も有効です。いろいろ書きすぎると失敗につながります。</p>
水上委員	<p>今会長からお話のあったQRは使いようかなと思いますね。これをやったからうまくいったっていうことではなくて、こういうことを</p>

やりましたっていう話しかできないんですけど、先ほど言った若葉台団地というところでは、約 6000 世帯 1 万 3000 人が住んでいますけれども、そこはこういうメンバーで作りましたというカバーレターをつけて概要版を全戸配布しました。

それも初めからそういうつもりで取り組んでいたんですけど、自治会さんが作ってくれている広報だとか、あらゆるものと歩調を合わせながら戦略的に、なるだけ多くの人に手に取ってもらえるような工夫をしました。

この手の話って基本的に興味のない人は興味ないし、興味を持ってくれた人が深入りするときに使えるツールだと思うんですね。

ですから、作った直後に最大限広げられるだけ広げて、お金と手間はかかってしまいますけども、まずは考えられるだけの広い範囲に投下して、そこから先というのはそこでキャッチしてくださった方からの口コミでしか広がっていかないと僕は思っているの、このツールで関心を持ってくれる人を増やしてこうというのは、現実にはなかなか難しいんじゃないかなと思っています。

ただこれから月日が経って、ここに書いてあることが一つでも二つでも具現化していったときに、これってここに書いてあるこれなんだよっていう発信をすることで、また関心の輪が少しずつ広がっていく。

これは経験則的には若葉台だけじゃなくて他のところも同じなんだろうなと思います。なぜかというところに関わったからといってあまり市民の方のメリットってなかなかないですよ。

手弁当である程度関わっていく、あるいは事業者の方も投資した見返りがすぐ出てくるかっていうそういうわけでもない。

そう考えると、ある程度その手弁当で、もう少しコミットしたいという方の手元に来ると、まちとして、行政として目指しているところが見えてくると、少しずつ登場人物の輪が広がっていくんじゃないかなという気はしていますので、どこに対してどういうツールで何を訴えるかというのは、その場で使い分けてもいいのかなと、先ほどの會澤課長補佐からお話があった通り、ワークショップの道具として使うこともいいと思いますし、5 年ぐらいは変わるものじゃないと思うんですよ。これをテーマにしたワークショップは1回のみじゃないでしょうし、この中にあるうちの、例えば共生をテーマにしたワークショップ、生彩をテーマにしたワークショップをやって 3 年 5 年経つと社会環境も変わっていくと思うので、そのときに振り返ったら必ずあるものというのはこれのはずなんですよ。

	だから、まずはすそ野を広げるための一発目として、できるだけ多くの人に届けることが必要なのかなと思います。
佐野会長	アドバイザー杉渕さんはどうお考えでしょうか。
杉渕アドバイザー	<p>いろいろなご意見を聞かせていただきましてありがとうございます。</p> <p>まずはですね活性化指針が皆さんの力によって先ほど協働という言葉が出ましたけど、ともに作るということができたということは非常に素晴らしいと思います。</p> <p>それで、なおかつこれだけの意見があって、そこをよく読むといろいろな意見がたくさんあるんですね。</p> <p>それも非常に関係が深いものだし、先ほどこの意見から本編の方に活用させていただいたのもいくつかあるということなんですが、若い世代からも期待されていることもわかりまして非常にこの意見は参考になって、今後の役に立つんじゃないかなと思います。</p> <p>また、全体の意見を踏まえて、ふと思ったのがですね、いろんな世代の人たちの居場所というものが、全国的にも課題になっているのではないかなと思います。ライフタウンの中でも、こどもたちの居場所、それから大人たちの居場所、高齢者の居場所、何かをしたい人たちが少し働けるワークステーションとかですね、そういう空間というのは非常に重要な役割を持ってくるのではないかなと思います。</p> <p>その空間を多く保有しているのがライフタウンではないかなと思います。いろんな自然空間から、計画的に作ってきたので、様々な空間があります。先ほど最初に意見があった市街化区域の中の用途地域の関係でコンビニができないというような意見があったんですが、藤沢でもですね、都市計画の変更をやる時に、用途地域を変更した例がいくつかあると思うんですが、代表的なのが、辻堂地区の都市計画道路で、実際に事業を進めていったときに、道路沿いが第一種低層住居専用地域だったものを変更して商店ができるような形にした経過があります。今後は行政側がどのようにこの指針を踏まえて、行政としての制度的な整備などいろんな手法を考えていく必要があるのではないかなと考えておるので、行政側の人是非常に苦労するかなと思うんですが、それはある意味、新しい時代の中で、都市づくりをどう進めるかっていうことで、やりがいがある仕事の一つのことではないかなと思っております。</p> <p>それから、これはあくまでも感想なんですけれども、この指針がライフタウンの皆さんにとって本当に役立つようなものになるのが一番良</p>

	<p>いかと思いますので、先ほど水上さんがおっしゃられたように、まずは全体に知ってもらうために、この事務局が作ってくれた資料を使ってですね、また見やすく工夫しながらなるべく多くの人の手に渡るような形になればいいのではないかなと思っています。</p> <p>今後も地域活性化協議会のみなさまは、いろんな形で地域づくりに関わられていくかと思っていますので、そういう中でも、役立てていただければと思っています。私からは以上です。</p>
佐野会長	<p>はいありがとうございました。</p> <p>今の杉渕さんのアドバイスをいただいたので、やはりこの表のイラストは、大庭城址とか緑とか、けやき通りというものをイメージして明確に出していくということで、大庭城址の広場のイメージをライフタウンのイメージと重ねていくような形でいくほうがよいと思います。</p> <p>他に意見がございますか。</p>
中村委員	<p>これをこれ読むとですね、意見提案の結果の資料 1-2 なんですけども、意外とライフタウンの成り立ちを知らない人が多いんだなと思いました。だから、地域資源の魅力と課題みたいなところをもう少し記載して、ライフタウンがこのままいったら高齢者だけの限界集落になってしまうという危機感をどこかで言った方がいいのかなと思いました。</p>
佐野会長	<p>ありがとうございます。やはり、これは未来の話なので、あまり暗い話や危機感を煽るような話、今の問題点出すとそれで終わっちゃうんですよね。指針の中身までたどりつかない。なので QR コードを貼って、興味がある人に現状とか問題点とかを認識してもらうようにしてほうがよいと思います。</p> <p>他ございますでしょうか。</p>
神木委員	<p>活性化会議のときに僕もちよっと発表したんですけども、以前これは NHK であったり日経新聞なんかにも取り上げられていたんですけどね。例えば東京の千代田区の神田という街は空き住戸が増えているので、それを何とかしたいということで、神田地区はですね、大学生を無料で住まわせて、その代わり自治会の役どころをやっていたらこうというようなことを条件に、千代田区長が考えられて、それを実行したらいいんですけど、それは非常に人気良くて、大学生は家賃を払わなくて住めて、その代わり自治会のいろんな役目を担うっていうようなことをしていて、素晴らしい取り組みということがニュースでやってましたけども、市内にも 4 つの大学があるわけですから、このような取り組みなんかも参考にしてはいいんじゃないかと思いま</p>

	す。
佐野会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>他ございますか。</p> <p>いろんな意見が出て全部入れるとこれ大変なことになるので、事務局にですね、また形を作ってもらいたいと思いますけどこれよろしいでしょうか。いいですか。</p> <p>まず指針についてご議論を長きにわたりいただきまして、こちらについては、ほぼ内容は固まったのかなと考えております。</p>
會澤課長 補佐	<p>こちらの中身で若干の変更があったりする場合には、事務局と会長で調整をさせていただいて、それは後日ご報告をさせていただければというふうに思っております。</p> <p>概要版につきましては、先ほどもお伝えしました通り若干のお時間ございますので具体的なご意見があれば調整をさせていただければと思うんですが、会議として開く回数としては限りがございますのでメール等でやり取りをさせていただいて、完成したものを次回皆様にお示しできればと考えております。</p>
佐野会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>そういうことでよろしいでしょうか。</p> <p>それでは事務局に一任するという形で進めさせていただければと思います。</p>

6 閉会

會澤課長補佐による司会で、次回会議の日程案内及び閉会のあいさつをした。

會澤課長 補佐	<p>はい。次回の日程につきましては、10月31日の木曜日を予定してございます。</p> <p>こちらも予定ということですので詳細の日時につきましては決定後に改めてご案内させていただければと考えております。</p> <p>皆様方におかれましては長時間にわたりましてご意見等いただきまして大変ありがとうございました。</p> <p>本日は以上をもちまして令和6年度第2回湘南大庭の未来を考える会議を閉会とさせていただければと思います。</p> <p>本日は誠にありがとうございました。</p>
------------	---

まとめ
議題 3 指針(案)本編について
(1) 本編については、会議資料のとおり確定とする。 (2) 製本の仕上がりのイメージについては次回会議で共有する。
議題 4 指針(案)資料編について
(3) 提案のとおり資料を追加する。ただし、発行元の許諾が必要な資料については、その許諾が得られた場合に限る。 (4) 湘南大庭の未来を考える会議及び湘南大庭地域活性化協議会の前委員らについても、当人の了承が得られれば名簿に掲載する。
議題 5 指針概要版について
(5) 委員から意見のあった修正点については可能な限り反映する。 (6) 修正後のデザインについては事務局に一任する。 (7) 仕上がりのイメージについては次回会議で共有する。